

井原市立荏原小学校 いじめ問題対策基本方針

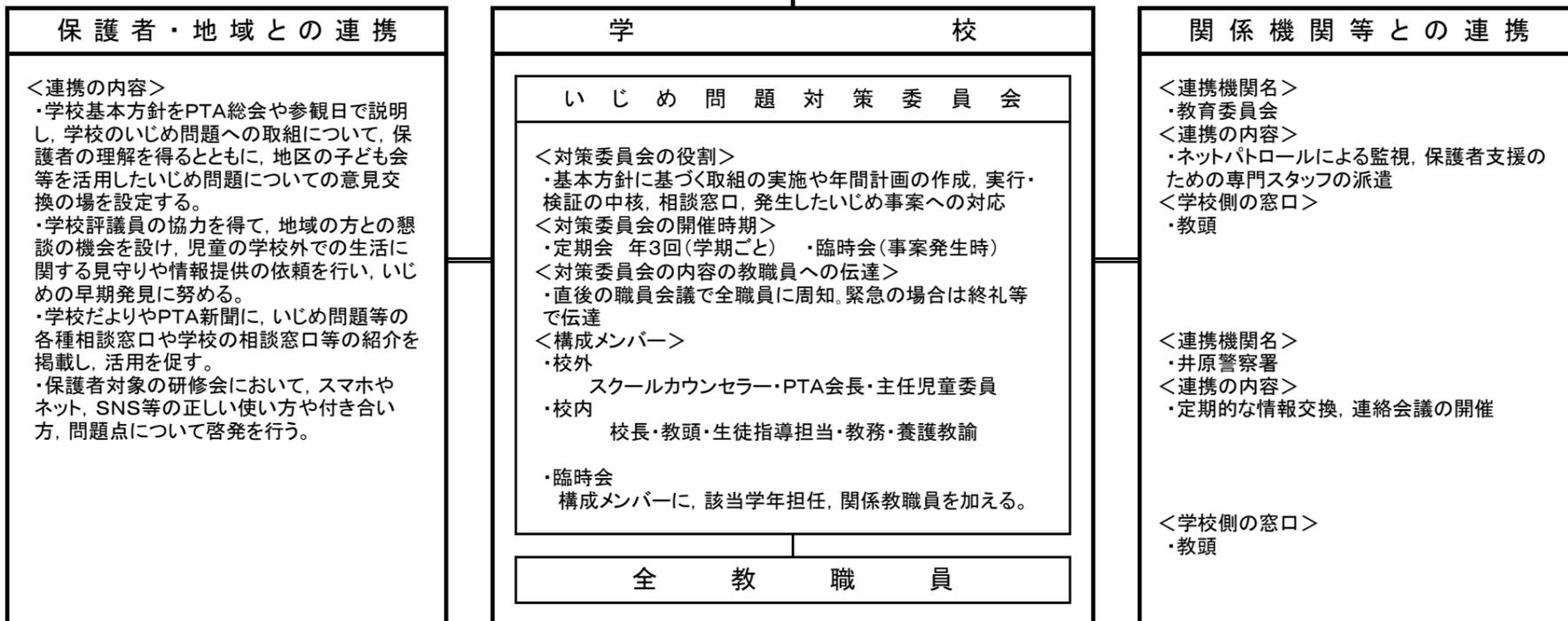
平成30年4月 改訂

いじめに関する現状と課題

・友達の名前の呼び方や声のかけ方等で、相手の気持ちを考えていないことが多く、トラブルになっている。
 ・いじめ発見や未然防止のために、毎月校内生徒指導委員会(いじめ問題対策委員会)を開き、児童の情報交換などを行っている。また週3回の職員終礼で、児童についての情報交換の場を設け、児童の情報交換などを行っている。

いじめ問題への対策の基本的な考え方

・校内生徒指導委員会(いじめ問題対策委員会)を中心にいじめ問題の解決のための取組を行う。また週3回の職員終礼で、児童についての情報交換の場を設け、問題の早期発見に努める。
 ・いじめの未然防止に向けた児童の主体的な活動を進めるとともに、一人一人が輝ける居場所を作ることで自己有用感や充実感を感じられるようにする。
 ・教育相談週間を利用して、児童に「くらしアンケート」を実施し、得られた情報を指導に生かす。
 ・参観日等で、スマホやネット、SNS等の危険性について呼びかけを行い、児童とともに保護者への情報モラルについての教育の推進を図る。
 <重点となる取組>
 ・hyper-QU調査やくらしアンケートを実施し、実態を把握し、指導に生かす。また教育相談を定期的実施する。
 ・なかよし週間(いじめについて考える週間)(6月)や「人権週間」(12月)において、児童会が実施する取り組みを支援し、いじめは決して許されないことという意識の高揚を図る。



学校が実施する取組

| | | |
|---|---------|---|
| ① | いじめの防止 | (職員研修) ・教職員の指導力向上のための研修として、ネットいじめ等について研修を行う。 (児童会活動) ・「いじめを考える週間」(6月)「人権週間」(12月)において、児童会主催のいじめ防止や名前の呼び方等の意識を高めるための取り組みを進める。 (居場所づくり) ・授業や行事では、規律を守り落ち着いた行動を促し、誰もが活躍できる機会を設定することで、自己有用感や充実感を感じられる学校づくりを進める。 (情報モラル教育) ・ネット上のいじめを防止するために、情報機器の利便性ととも、情報を発信する責任を自覚し、適切に利用できる力を身に付けるための情報モラルに関する授業を、全年年間計画に位置付け、1時間以上は行う。(学活または総合で) |
| ② | 早期発見 | (実態把握) ・児童の実態把握のためのくらしアンケートを実施し、教育相談を行うことで、いじめの早期発見を図る。 ・hyper-QU調査や「くらしのアンケート」を年2回実施し、学級の間人間関係について把握する。 (情報共有) ・児童の気になる行動について、終礼等で情報を共有するようにする。 (保護者啓発) ・個人懇談や子ども会等を利用して、児童の変化や家庭におけるいじめへの対応に関する啓発を行う。(情報モラル教育) |
| ③ | いじめへの対処 | (いじめの有無の確認) ・本校児童がいじめを受けているとの通報を受けたり、その可能性が明らかになったりしたときは、速やかに、いじめの事実の有無の確認を行う。 (いじめへの組織的対応と関係機関との連携) ・いじめへの組織的対応を検討するため、いじめ問題対策委員会を開催する。 ・得られた情報を複数で判断し、状況に応じて、専門家や関係機関と連携し、いじめへの組織的対応を行う。 (いじめられた児童とその保護者への支援) ・いじめがあったことが確認された場合には、いじめられた児童を最後まで守ることを最優先に、その児童や保護者に対して支援を行う。 (いじめた児童への指導とその保護者への助言) ・いじめた児童に対しては、いじめは絶対に許されない行為であり、相手の心身に及ぼす影響等に気付かせるなど、適切かつ毅然とした対処を行うとともに、その児童の周囲の環境や人間関係など、その背景を十分に把握し、保護者の協力を得ながら、健全な人間関係を育むことができるように指導する。 (他の児童や保護者へのはたらきかけ) ・いじめは、当事者だけの問題ではなく背景となった集団全体の問題と考え、話し合いを通して「いじめを決して許さない」という毅然とした姿勢を示すとともに、互いを尊重し認め合う人間関係の構築に努め、再発を防止する。 ・保護者会を適宜開催し、事案の説明や今後の方針等を保護者に伝え、保護者の理解と協力を得て、事案の解消や再発防止に努める。 (いじめ解消後の継続的な指導) ・いじめを一過性の問題と考えず、複数の教職員で経過観察したり、保護者の協力を得たりしながら継続的に始動する。 ・いじめ事案の記録を必ず残し、次年度への引継ぎを必ず行う。また重大な事案については、その記録を5年間は保管する。 |